マグの相方“プラス”施工要領

［2024.12 版］

マグの相方プラス

施工前に必ずお読みください。

マグの相方“プラス”(ストロングタイプ・鋼板パネル)注意事項・施工要領

施主様と内装工事事業者様へ

取扱上のご注意

◎施工に使用する製品に関しては、各製品の使用方法、注意事項を必ず読み、十分にご理解の頂いた上でご使用ください。
◎施工前に施工説明をよく読み、正しく施工してください。
◎化粧鋼板仕様のため、パネルを移動・反転・加工をする場合には、滑り止め手袋着用し二人での作業をお願いいたします。
パネルをV字の状態で移動をすると、腰折れ(折れ曲がり)が発生する場合があります。
お取り扱いは慎重に十分ご注意の上、お願いいたします。
◎「マグの相方"プラス"」は**屋内専用**です。
◎火の近くなど、高温・多湿の場所へのご使用は避けてください。
◎ボード面にシールや濡れたものを貼らないでください。また、キズやヘコミをつけないでください。
◎シンナーやベンジンのご使用は避けてください。
◎電子機器、医療機器、精密機器、磁気製品、時計等に粘着させないで下さい。粘着させるだけでは
影響はありませんが、磁石部分をくっつけてご使用の際に相手側の機能を失う可能性があります。
◎本製品はマグネットではありません。
◎表面に鋼板を使用しており、側面などにサビによる変色が経年で発生するおそれがあります。

壁紙についてのご注意

【施工後の不具合については保証いたしかねます】

◎**汚れ防止壁紙・表面強化壁紙**などで多く見受けられる**フィルム・ラミネートタイプなどの通気の少ない壁紙は避けてください。**
※糊の水分の逃げ場がないことにより、目スキ・剥がれ・フクレが発生する可能性が有ります。
◎**凹凸の激しい壁紙**や**極端に厚みのある壁紙**はマグネットの保持力を低下させます。
◎壁紙ジョイント部は下地を切らないように**突き付け施工**ないし、重ね切りする場合はマグの相方”プラス”に傷を付けないように**必ず**※**1ステンレス**の下敷を使用してください。

※1「ジョイント下敷(No11-4030)極東産機(株)」

◎目スキ防止の為**ジョイント補強テープ「くいさきテープ」等**を挿入してください。
◎壁紙の種類によっては接着しにくい物もありますので**試験施工**し確認された上で施工してください。

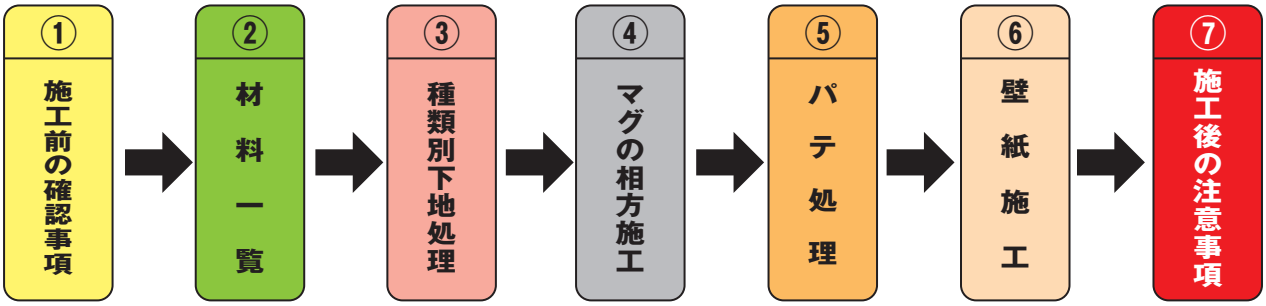
施工前に準備するもの

○接着剤　(マグフィニッシュまたはウォールボンドＥＶ−３０)
○下地調整剤
○切断端部用の防サビ剤
※マグの相方(スタンダードタイプ・スチールラバーシート)と違い防サビ剤が必要となります。
○パテ処理材料・マスキングテープ
○滑り止め保護手袋
○ジョイント下敷(No11-4030)極東産機(株)　(壁紙を重ね切りする場合)
○切断工具
※マグの相方(スタンダードタイプ・スチールラバーシート)と違いカッターではカットすることができません。
・金切りハサミ
(ホームセンター等でも購入していただけます。手が邪魔にならない持ち手部分に角度が有る物をお選び下さい)
・電動丸ノコ(鋼板用丸ノコ刃使用)
・ストレートシャー
○保護メガネ・防じんマスク(電動丸ノコ・ストレートシャー使用の場合)

マグの相方“プラス”施工要領

施工の流れごとの施工方法をよく読み、施工してください。

施工の流れ



①	施工前の確認事項、下記を必ずお読みください。
②	材料一覧を確認の上、商品が適合しているか確認してください。
③	種類別下地処理を確認の上で適正な下地処理を行ってください。
④	マグの相方”プラス”施工をよく読み正しく施工してください。
⑤	パテ処理をよく読み正しく施工してください。
⑥	壁紙施工をよく読み正しく施工してください。
⑦	必ずご確認ください。

① 施工前の確認事項

◎マグの相方”プラス”が施工可能な下地か材料一覧表から確認してください。
◎施工は**5℃以上で行ってください。**
◎マグの相方”プラス”は巻物梱包で納入されますのでパネルを平らな場所で異物を挟まないように広げて、運送時の傷・破損を確認してください。
◎巻グセが完全に無くなる迄は施工はしないでください。
◎化粧鋼板仕様のため、パネルを移動・反転・加工をする場合には、滑り止め手袋着用し二人での作業をお願いいたします。
パネルをV字の状態で移動をすると、腰折れ（折れ曲がり）が発生する場合があります。
お取り扱いは慎重に十分ご注意の上、お願いいたします。
◎**汚れ防止壁紙・表面強化壁紙**などで多く見受けられる**フィルム・ラミネートタイプなどの通気の少ない壁紙は避けてください。**
※糊の水分の逃げ場がないことにより、目スキ・剥がれ・フクレが発生する可能性が有ります。
◎**凹凸の激しい壁紙**や**極端に厚みのある壁紙**はマグネットの保持力を低下させます。
◎壁紙ジョイント部は下地を切らないように突き付け施工ないし、重ね切りする場合は必ず※1ステンレスの下敷きを使用してください。**※1「ジョイント下敷（No11-4030）極東産機（株）」**
◎パネルのカットは　金切りハサミ・電動丸ノコ・ストレートシャーにてカットができます。
丸ノコでのカットの場合は必ず鋼板用を使用し、鋼板の面を下面にしてカットしてください。
丸ノコ・ストレートシャーを使用する場合は保護メガネ・防じんマスクを着用してください。
◎下地の種類によっては施工できない場合や、下地調整に思いのほか時間や経費が掛かる場合もあります。

マグの相方プラス

② 材料一覧表

注意点 下地の状態によっては下地調整やマグの相方 ” プラス ” の施工が出来ない場合もあります。

製品 ＼ 種類別下地	石膏ボード	ケイカル板	ベニヤ	ラワン合板	コンパネ	コンクリ	モルタル

●マグの相方（糊なし）下地別接着剤

	マグの相方・マグフレンズ用接着剤 マグフィニッシュ トキワ工業㈱	○	○	○	○	○	○	○
	ＥＶ－３０ ウォールボンド工業㈱	○	○	○	○	○	○	○

●下地別　不陸調整

		下地別　不陸調整						
下塗り		Vスリーク 60/120 ㈱ニットー	○	○	○	○	○	○	○
		エクセルⅡ60/120 ウォールボンド工業㈱	○	○	○	○	○	○	○
上塗り		メリット 60/120 ㈱ニットー	○	○	○	○	○	○	○
		ファースト 60/120 ウォールボンド工業㈱	○	○	○	○	○	○	○
上下兼用		速硬パテ 30 ㈱ニットー	○	○	○	○	○	○	○
		パラダイン 30M ウォールボンド工業㈱	○	○	○	○	○	○	○
下・中塗り		タフラックP・６０ ㈱ニットー	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		※「タフラックP・60」は石膏ボード、合板及びケイカル板等の同種下地の目地処理や、これらの異種下地の組み合わせにおける目地処理も可能でクラックの発生が抑制されます。通常のパテに比べて接着力が非常に強力の為、作業感が従来品とは異なる可能性があります。							
		耐パテ 60 ウォールボンド工業㈱	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		※「耐パテ60」は、石膏を主原料とした特殊樹脂を含有する粉末パテです。効果後の接着強度・微弾性に特徴があり、石膏ボードおよび異種下地等の目地処理でクラックの発生が抑制されます。通常の石膏パテに比べて接着強度が非常に強力な為、作業性や肉ヤセ等が異なる場合があります。							
張り替え下地		貼替 SEED ㈱ニットー	○	○	○	○	○	○	○
		水性増改用パテ ウォールボンド工業㈱	○	○	○	○	○	○	○

●下地別　調整材・補強材

	シーラーセットアップ ウォールボンド工業㈱	※1	○	○	○	○	○	○
	パワーシーラー ㈱ニットー	※1	○	○	○	○	○	○

※１ マグの相方 “ プラス ” の施工では、新しい石膏ボードに対しては塗布は不要ですが、貼替の石膏ボードに対しては
シーラーセットアップまたはパワーシーラーを規定の希釈をし塗布してください。

●推奨　壁紙用接着剤（マグの相方 “ プラス ” への捨て糊処理不要）

	トキワエコタック 100	トキワ工業㈱	原液使用タイプ （エチレン酢ビボンド入り）
	ウォールボンド 100	ウォールボンド工業㈱	原液使用タイプ （エチレン酢ビボンド入り）
	ウォールボンド 200	ウォールボンド工業㈱	原液使用タイプ （エチレン酢ビボンド入り）

③ 種類別下地処理

事前確認

①施工前に下地が確実に固定されているか確認してください。
②不陸、段差、目違いがないことを確認してください。
③下地に油汚れやサンダー処理後の粉などが残っている場合は取り除いてください。
④下地が乾燥している状態を確認してください。
⑤下記の該当する下地を確認して、それぞれの手順に沿って下地処理を行ってください。
※壁紙と下地が接着する面については使用される壁紙用接着剤に応じて、下地ごとの適宜な処理を行ってください。

石膏ボード下地（露出した下地）

①ボード継ぎ目や不陸部など、適宜必要に応じてパテ処理を行ってください。
②完全乾燥させて下さい。

ケイカル板・ベニヤ・ラワン合板下地

必ず下記のアク止めのシーラー処理を行ってください

①下地全面にシーラーセットアップ（ウォールボンド工業）３倍希釈またはパワーシーラー（ニットー）２倍希釈し塗布する。
※ベニヤ・コンパネにおいて、シーラー塗布時に木目が大きく膨らむ部分があれば取り除いてください。
②下地に不陸がある場合は、乾燥後パテ処理を行う。
※必要に応じてパラダイン３９０クリーン・パテボンドを使用するパテに添加してください。
③パテを塗布した部分が完全に乾燥後、パテの上にシーラーセットアップを３倍希釈またはパワーシーラー ２倍希釈し塗布する。
※吸い込みが激しい下地やアクが強そうな下地の場合は、パテ上だけでなく全面に塗布してください。
④完全乾燥させてください。

コンパネ・コンクリ・モルタル下地

必ず下記のアク止めのシーラー処理を行ってください

①下地全面にシーラーセットアップ（ウォールボンド工業）３倍希釈またはパワーシーラー（ニットー）２倍希釈し塗布する。
※ベニヤ・コンパネにおいて、シーラー塗布時に木目が大きく膨らむ部分があれば取り除いてください。
②下地に不陸がある場合は、乾燥後パテ処理を行う。
※必要に応じてパラダイン３９０クリーン・パテボンドを使用するパテに添加してください。
③パテを塗布した部分が完全に乾燥後、パテの上にシーラーセットアップを３倍希釈またはパワーシーラー ２倍希釈し塗布する。
※吸い込みが激しい下地やアクが強そうな下地の場合は　、パテ上だけでなく全面に塗布してください。
④完全乾燥させてください。

貼り替え下地：クロスの裏紙が残っている場合

必ず下記のシーラー処理を行ってください

①既存の壁紙の裏紙の浮き具合を確認。水を霧吹きなどしてみて、浮きが激しい 場合はすべて剥がす。
②裏紙がほぼしっかり残っている場合は、適宜必要部分にパテ処理（水性増改用パテ：ウォールボンド工業または貼替ＳＥＥＤ：ニットー）を行う。
※裏紙をほとんど取り除いた場合　⇒　露出した下地の手順に従って処理する。
③パテを塗布した部分が完全に乾燥後、下地全面にシーラーセットアップ（ウォールボンド工業）を３倍希釈、パワーシーラー（ニットー）を２倍希釈のいずれかで塗布してください。

④ マグの相方“プラス”施工

事前確認

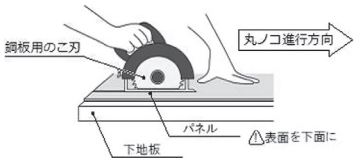
①5℃以上の環境で施工を行ってください。
②種類別下地処理を正しく行ってから施工してください。
③巻きぐせは必ず取ってから施工してください。
④マグの相方“プラス”は突き付け施工はできません。必ず2～3mmの隙間をあけてください。

マグの相方“プラス”の割付

①マグの相方”プラス”を貼る壁面を採寸して、パネルとパネルの間隔をパテ処理のため2～3mmあけて割付してください。
②平置き出来るスペースを確保し、ゴミ等で傷を付けないように注意して広げ、巻ぐせが取れてから次の工程に進んで下さい。

マグの相方“プラス”の割付

●パネルの切断は金切りハサミ・電動丸ノコ・電動ストレートシャーで行います。
※金切りハサミはホームセンター等で安価で購入していただけます。
　持ち手部分に角度の有る物が切断の際にパネルに手が当たらないのでお勧めいたします。
※電動丸ノコでの切断は鋼板用の刃物を使用してください。加工時には保護メガネ・防じんマスクを着用してください。
　切断の際は、パネルの下に下地材（ベニヤ板、MDF等、スタイロフォーム）を敷いてパネルの表面を下面にしてください。
※電動ストレートシャーでの加工時には保護メガネ・防じんマスクを着用してください。



●切断面はバリ等が発生しますので、必ずサンドペーパー・金ヤスリ等で面取り処理を行ってください。

防サビ処理

●防サビ剤を端部へ塗り残りがないようにしっかりと多めに塗布してください。
●表面にキズがある場合、その部分にも塗布してください。
●サビが発生している箇所がある場合は、完全に除去を行い塗布してください。
　※この作業を行わないと施工後の不具合につながります。必ず行ってください。
●完全に乾いてから次の工程に進んでください。

貼り付け・圧着

①マグの相方“プラス”を貼る際は、必ず下地ごとの適正な下地処理を済ませてから「マグフィニッシュ」または「EV－30」原液を 下地側の貼る箇所にパテベラ・櫛バケ・櫛目ゴテなどを 用いて1巾分ずつ塗りつけます。
②ローラーで均一に塗りのばしてからマグの相方”プラス”を貼ってください。目安の塗布量は200g/㎡。
　※「マグフィニッシュ」も「ウォールボンドEV－30」も向こう糊付け用（下地側に塗布する）接着剤なので、材料への直接塗布する必要は有りません。
③滑り止め手袋を着用し、下端から貼付けます。
④ジョイントは2～3mm間隔をあけて貼ってください。
⑤ローラー等で均一に下地としっかり圧着させてください。
　※圧着が不十分な場合は、浮きが出る場合があるのでご注意ください。
　※残った「マグフィニッシュ」は「EV－30」の用途（掲示板クロス等）に合わせてご使用していただけます。

養生

●貼り付け後、24時間以上力が加わらないようにし養生してください。
●エアコン等室温の変化を避け自然乾燥で養生してください。

⑤ パテ処理

●パネル間の隙間、端部をパテ処理で調整し平滑にして下さい。
●パテの塗られている箇所はマグネットの保持力が低下します。厚くならないようにご注意下さい。
●サンダーがけで表面にキズを付けた場合その箇所からサビが発生する危険があります。
　サンダーは使用できませんので念入りにパテ処理を行ってください。

⑥ 壁紙施工

事前確認

①フィルム・ラミネートタイプの通気性の少ない壁紙は避けてください。
（使用を避けられない場合には施主様や依頼主様には目スキ・ハガレ・フクレの可能性がある事を事前に確認してください）
②凹凸の激しい壁紙や極端に厚みのある壁紙はマグネットの保持力を低下させます。
③壁紙のジョイント部を重ね切りする場合には、必ず「ジョイント下敷」（極東産機）を使用し下地にキズを付けないようにしてください。
④壁紙と下地が接着する面については使用される接着剤に応じて、下地ごとの適宜な処理を行ってください。

トキワエコタック 100（トキワ工業）
ウォールボンド 100　（ウォールボンド工業）
ウォールボンド 200　（ウォールボンド工業）

トキワエコタック100・ウォールボンド100・ウォールボンド200での施工方法は同じです。
※390クリーン処理（捨て糊）をしなくても施工可能です。
①通常の壁紙を施工する要領で上記の接着剤を原液にて糊付け（塗布量130g/㎡）
②養生袋やクロスボックスを用いてオープンタイムを取ってください。
③通常の壁紙を施工する要領でマグの相方“プラス”に壁紙を貼り付けます。
④壁紙のジョイント部は突き付け施工ないしマグの相方“プラス”にキズを付けないよう必ず「ジョイント下敷No11-4030」（極東産機）を使用し重ね切りを行ってください。
⑤目スキ防止の為ジョイント補強テープ「くいさきテープ」等を入れてください。
⑥撫で刷毛で丁寧に空気を抜きながら撫でつけ壁紙を貼り付けてください。
※コーナー部分には「スーパージョイントX」（ウォールボンド工業）の使用をお勧めします

その他壁紙用接着剤

※パラダイン390クリーンで捨て糊処理が必要となります。

●最初にマグの相方プラスの表面に「パラダイン390クリーン」原液を刷毛かローラーにて均一に塗布し、十分に乾燥させてください。
●通常の壁紙を施工する要領で貼り付けます。
●壁紙のジョイント部は突き付け施工ないしマグの相方“プラス”にキズを付けないよう必ず「ジョイント下敷No11-4030」（極東産機）を使用し重ね切りを行ってください。
　目スキ防止の為ジョイント補強テープ「くいさきテープ」等を入れてください。
※コーナー部分には「スーパージョイントX」（ウォールボンド工業）の使用をお勧めします。

⑦ 施工後の注意事項

①はみ出したパテや接着剤は直ちに清水で拭き取って下さい。
②壁紙によってはフクレが起こりやすいので、その場合はエア抜きを丁寧に行ってください。
③壁紙施工後は１週間程度は急激な空調の使用は避けて、自然換気に努めてください。
④施工後すぐのマグネットの使用は避けてください。